

## 508

## 扁桃におけるFDG集積

大阪市立大学医学部核医学研究室、放射線科\*、耳鼻科\*\*  
河辺譲治、岡村光英\*、小山孝一\*、赤土みゆき\*、松田美  
貴\*\*、阪本浩一\*\*、越智宏暢

頭頸部腫瘍の検索にFDG-PET検査が行なわれており、画像上両側口蓋扁桃の描出が見られることがある。今回、頭頸部悪性腫瘍について扁桃の描出の頻度、FDG集積の程度を検討した。対象は視診、CT、MRで扁桃部に異常を認めない73例。結果は、73例中26例(32%)に扁桃の描出が認められた。相対的定量値であるSUVは2.2から6.8(平均 $3.89 \pm 1.05$ )に分布し高い糖代謝を示すものも見られた。炎症反応の指標であるCRPの値と描出の頻度、集積の程度には明らかな相関は認められず、また悪性腫瘍の発生部位や組織所見の間にも明らかな相関は認めなかった。